

ホスピタル・プレイによる病児・障害児の支援及び対人援助

社会福祉学科
(社会福祉専攻) **松平 千佳**

● 連絡先 TEL : 054-202-2653 FAX : 054-202-2653

キーワード

ホスピタル・プレイ, Hospital Play Specialist,
ソーシャルワーク, 病児, プレイ・セラピー, 対人援助



遊び(Play)の力によって病児や障害児とその家族を支援する専門職ホスピタル・プレイ・スペシャリスト(Hospital Play Specialist:HPS)について、「セラピューティックな遊び、遊びを使った子ども支援方法の研究及び実践」、「ホスピタル・プレイの価値創造」、「小児医療におけるHPSの専門性確立」を中心に教育研究を行っています。

学術的な領域から子どもにやさしい医療を実現するための課題を明らかにするとともに、小児医療に関わるあらゆるプロセスにおいて遊び本来の力が発揮されるための研究と実践を積み重ねていきます。

平成19年度より開講しているHPS養成講座では、令和4年11月末までに227名の修了生を小児医療機関、福祉施設などに送り出しています。子どもにやさしい治療を実現するHPSの養成教育は、平成24年度に実施された独立行政法人日本学術振興会の調査の結果、特に優れており波及効果があると認められました。また、平成25年度文部科学省の「大学における特色ある教育事例の把握等に関する研究調査」において全国42大学の特色ある教育事例として選出されています。平成27年度には、週末中心に開講するHPS養成週末講座をパイロット事業として新たに実施することとなりました。その結果を分析評価し、HPSの専門的な視点、知識、技術を学ぶ新たな機会を提供していきたいと考えています。



HPS Japan
Hospital Play Specialist



アピールポイント

- ・HPS養成講座（平成19年～）・HPS養成週末講座（平成27年～）の開講
- ・静岡市障害者歯科保健センターとHPSのチームによる、障害児・者に対するやさしい歯科治療を実現するための協働事業の展開
- ・静岡市児童相談所におけるプレイセラピーを使ったアドバイザー業務担当